

第 35 回 ファッション造形学セミナー

「新 JIS 衣料サイズの解説と日本人の身体計測データについて」

2023 年 3 月に JIS（日本産業規格）衣料サイズ規格の改定が公示される予定です。経済産業省委託事業「衣料サイズに関する JIS 開発」の審議結果が取りまとめられ、経済産業省のチェック、パブリックコメント、日本産業標準調査会の専門委員会を経て、およそ 20 年ぶりに改正されるものです。本セミナーでは、この改正の内容について、JIS 衣料サイズ原案作成委員会の分科会主査を務められた大塚美智子日本女子大学名誉教授から解説していただきます。また、この改正の根拠資料となった 2014～16 年の日本人の体格調査データの分析結果、体格調査と同時に行われた 3 次元計測データの分析結果、および ISO での 3 次元計測データや 3 DCAD に関連した規格についても各講師から解説いただきます。

アパレルのサイズ規格やそれにまつわる現在の日本人の体型や ISO の現状など、アパレル企業の皆様や大学教員のみならず、学生の皆様にもわかりやすくお伝えする予定ですので、広く皆様のご参加をお待ち申し上げます。

- [主 催] 一般社団法人 日本繊維製品消費科学会
[協 賛] 一般社団法人 日本家政学会, 日本感性工学会
[日 時] 2023 年 2 月 24 日(金) 13:00～16:30
[会 場] 日本女子大学を会場校としたハイブリッド形式 (対面+ZOOM 利用による)

[内 容]

(13:00～13:05) 開会・お知らせ

(13:05～14:30) 「JIS 衣料サイズの改正の要点」 ……………日本女子大学名誉教授 大塚美智子

現行の衣料サイズ JIS は、1992 年～1994 年の日本人体型データに基づいており、すでに 20 年以上が経過している。そこでこの間の日本人の体型変化を捉えるため、2014 年～2016 年に 18 歳～90 歳の男女 3200 人の人体計測が実施された。同時に JIS 衣料サイズに関連する ISO の検討も行われた。これらを背景に JISL0111 (衣料のための身体用語)、JISL4001～4005 (乳幼児・少年・少女・成人男子・成人女子) 及び JISL4006 (ファンデーション)、JISL4007 (靴下類) の 8 規格の改正検討が行われた。その改正の概要と経緯について解説する。

(14:30～14:45) 休憩

(14:45～15:10) 「人体計測調査の分析と規格」

……………大妻女子大学 短期大学部 准教授 中村 邦子

日本人の人体寸法データベース 2014-2016 の男女の人体計測結果を利用して、年齢層別に重回帰分析により分析した。重回帰分析に用いる変数の組み合わせを検討し、女性は身長とバストの 2 変数、男性は身長、チェスト、ウエストの 3 変数を説明変数とした。算出された定数と係数から ISO と現行の JIS 衣料サイズに対応する年齢層別人体寸法表を作成した。この年齢層別人体寸法表をもとに現代日本人の体型特徴を分析した結果について報告する。

(15 : 10~15 : 35) 「人体計測データの分析－ISO8559 に準拠した DROP の検証－」

……………東京家政大学 准教授 田中 早苗

日本人の人体寸法データベース 2014-2016 の男女の人体計測結果を利用して、年齢層別に重回帰分析により分析した。重回帰分析に用いる変数の組み合わせを検討し、女性は身長とバストの 2 変数、男性は身長、チェスト、ウエストの 3 変数を説明変数とした。算出された定数と係数から ISO と現行の JIS 衣料サイズに対応する年齢層別人体寸法表を作成した。この年齢層別人体寸法表をもとに現代日本人の体型特徴を分析した結果について報告する。

(15 : 35~15 : 40) 休憩

(15 : 40~16 : 25) 「3 次元計測データの分析結果と ISO TC133」

……………京都女子大学 准教授 渡邊 敬子

手計測と同時に、日本人成人男女の約 2000 名の 3 次元計測調査を行っている。このデータから身体の平均形状、および形状のばらつき（個人差）の大きい要因、さらにそれに基づく体型の分類について、解析手法を交えて結果の解説をする。さらに、日本提案で国際規格化した ISO20947 : 3D-CAD の機能評価における人体、衣服のバーチャルモデル生成、およびこれらのデータによるサイズやフィット感の評価機能について概説する。

(16 : 25~16 : 30) 閉会

[参加費]

会員（学校） 7,000 円, 会員（企業・団体・官公庁） 10,000 円, 会員（学生） 2,000 円
非会員（学校） 11,000 円, 非会員（企業・団体・官公庁） 15,000 円, 非会員（学生） 2,200 円
※会員は不課税, 非会員は税込金額です

[申込方法] 参加をご希望の方は、申込みフォームより必要事項を記入してお申込みください。

学会 HP : <http://www.shohikagaku.com/>

[参加方法] 日本女子大学を会場校としたハイブリッド開催 (Zoom) を予定しています。

詳しい参加方法は、参加申し込みいただいた方にメールでご案内します。

[申込・問合せ先] 一般社団法人 日本繊維製品消費科学会事務局

〒530-0042 大阪市北区天満橋 2-2-7-403 (アルカディーナ天満橋リバーサイド)

TEL : 06-6358-1441 FAX : 06-6358-1442 E-mail : shohikagaku@nifty.com

ファッション造形学研究委員会

委員長 : 森下あおい (滋賀県立大学)

委員 : 伊藤 海織 (金城学院大学), 金 晃屋 (信州大学), 滝澤 愛 (椋山女学園大学),

武本 歩未 (日本女子大学), 平良木啓子 (文化学園大学), 丸田 直美 (共立女子大学),

渡邊 敬子 (京都女子大学)